

# 進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は  ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	社会学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 各課程別学位授与プロセスの再設定・周知・公表	→学位授与プロセスの再設定・周知・公表の有無	B	B			
2. 博士学位キャンディデート取得後のフォローアップ体制の確立	→博士学位キャンディデート資格取得者数(入学定員の過半数)およびプロセスモデルと一致する学位取得者数	B	B			
3. 専門社会調査士資格取得プロセスの明示・公表	→専門社会調査士資格取得者数(入学定員の過半数)および公表の有無	B	B			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

### 《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) <span style="color: orange;">いづれかにチェックしてください。</span> →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(学位授与方針) 博士課程後期課程の3年間で「博士学位申請論文」を執筆・提出することを目標とし、「社会学研究科後期課程博士学位取得プロセス<モデル>」にもとづき、指導教員の指導を受けて研究活動を進めることを奨励する。
	(説明) 「社会学研究科後期課程博士課程取得プロセス<モデル>」について、大学院「授業科目履修心得/教育課程」p.28において、明示している。なお、専門社会調査士資格取得プロセスについても同冊子のp.24-p.25に明示している。

★ 小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(教育課程の編成・実施方針) 1. 高度な専門知識教育の前提となる基礎的な学問知識を体系的に教えるカリキュラムの構築、2. 専門分化された知識体系を有機的に相互関連させる教育カリキュラムの構築、3. 現実社会の問題・課題に対して貢献しうる専門知識を教育するカリキュラムの構築、4. 国際的な発信能力を養成する教育カリキュラムの構築。  (説明) 今後、大学院「授業科目履修心得／教育課程」およびホームページにて明示予定。
小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない  (説明) 教職員及び大学院生に対しては、大学院「授業科目履修心得／教育課程」、「カリキュラム編成のための資料（大学院）」において周知しており、社会に対しては「関西学院大学大学院案内」において公表している。
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない  大学院連絡会ならびに大学院研究科委員会において、検証し、「社会学研究科後期課程博士学位取得プロセス＜モデル＞」を2010年3月3日改正施行し、キャンディデート授与の要件に「博士学位申請論文構成概要書」を加えた。
その他	

《評価指標データ》

カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度  
必修・選択ごとの開設授業科目数  
系列別卒業必要単位数

★ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

↓

《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

<b>【点検・評価 (2)】改善すべき事項</b> 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。	
小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

↓

<b>《次年度に向けた方策(2)》改善方策</b> 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。	
小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

<b>【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】</b>	
★その他 (自由記述)	

III. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

**【学外委員】**

- 「現状の説明」6.1.1 (学位授与方針) の記述は(説明)にあたるのではないのでしょうか。
- 6.1.2「編成・実施方針」の早急な公表が待たれます。

**【学内委員】**

- 「教育課程の編成・実施方針」について、現状の説明の小項目6.1.2では「明示していない」、小項目6.1.3では「周知・公表している」となっているのは、混乱があるのではないですか。
- 教育目標に基づく学位授与方針がきちんと明示されており、それを大学構成員に周知徹底し、社会に対して公表している点は大いに評価できます。教育課程の編成などについても今後明示される予定となっているので、十分に期待が持てます。これらの内容についての検証も定期的に行われているので、この点も非常に評価できます。
- 記述されている学位授与方針は学位授与手続きというものではないのでしょうか。
- 社会への公表は、誰でも見ることができるホームページでの公表が重要です。これについて触れておいてください。

**【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】**

- 小項目6.1.1  
基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」  
達成度評価：なし
- 小項目6.1.2  
基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」  
達成度評価：なし
- 小項目6.1.3  
基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」  
達成度評価：なし
- 小項目6.1.4  
基盤評価：なし  
達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★6.1.2 「明示していない」→「明示している」に変更
------------------------------